

平成 31 年度入学試験問題

一般選抜前期日程

小 論 文

「論述（図表理解）」

注 意

1. 指示があるまで、手を触れないこと。
2. 指示に従って、解答用紙に受験番号（算用数字）および氏名をはっきりと記入すること。
3. 解答は、解答用紙の指定された箇所に、横書きで記入すること。
4. 問題冊子は 7 ページ、解答用紙は 1 枚である。もし、問題冊子の落丁、乱丁および解答用紙の汚れなどがあれば、ただちに申し出ること。
5. 問題冊子は持ち帰ること。

問題 (150点)

現代社会では、行き過ぎた格差を是正し貧困問題を解決することは、国家の重要な役割の1つであると考えられている。国はこうした役割を遂行するため、税制や社会保障制度などを通じて再分配政策を実施している。図1～6は、日本の所得格差、貧困、再分配政策に関するものである。これらの図をみながら以下の設問に答えなさい。

設問1

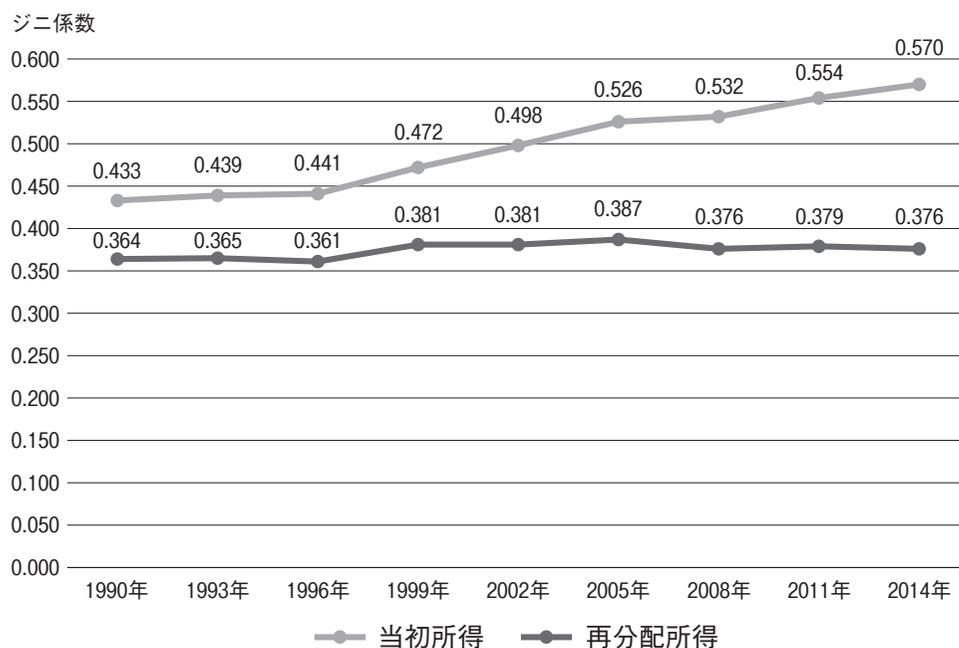
図1～4をみて、1990年以降の日本における所得格差及び貧困の特徴について、時間の経過にともなう変化に言及しつつ、300字以内で説明しなさい。

設問2

図5、6をみて、日本の再分配政策のかかえる問題点を指摘しなさい。また、設問1の解答をふまえて、所得格差および貧困問題の解決に向けて、今後どのような再分配政策が求められるのか、あなたの考えを述べなさい。本設問は500字以内で答えなさい。

*出題にあたり、小塩隆士「平成27年度第14回税制調査会会議資料」を参照した。
また一部の用語について定義を簡略化した。

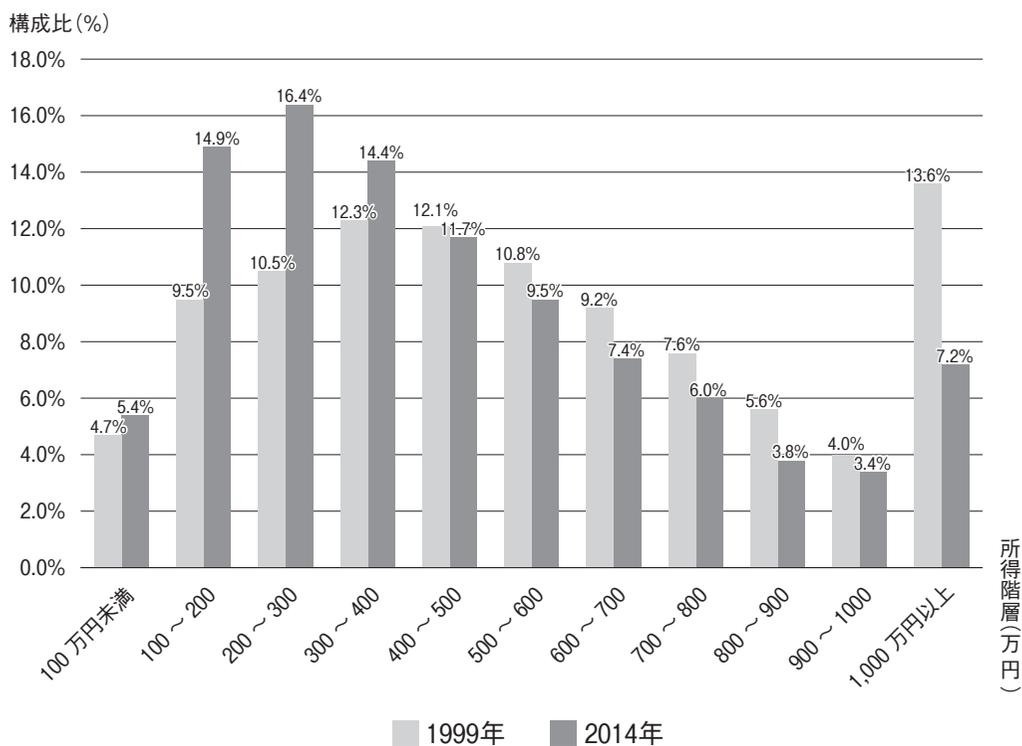
図1 世帯所得のジニ係数の推移



出所：厚生労働省「所得再分配調査」から作成

- (注) 1. ジニ係数とは、所得などの不平等をはかるための指標の1つである。0から1の値をとり、0に近いほど所得格差が小さく、1に近いほど所得格差が大きい。
2. 当初所得とは、税と社会保障による調整を加える前の所得である。
3. 再分配所得とは、当初所得に税と社会保障による調整を加えた所得である。
4. 社会保障のなかには、社会保険（医療保険、年金、雇用保険、介護保険など）、公的扶助、社会福祉、公衆衛生などが含まれる。

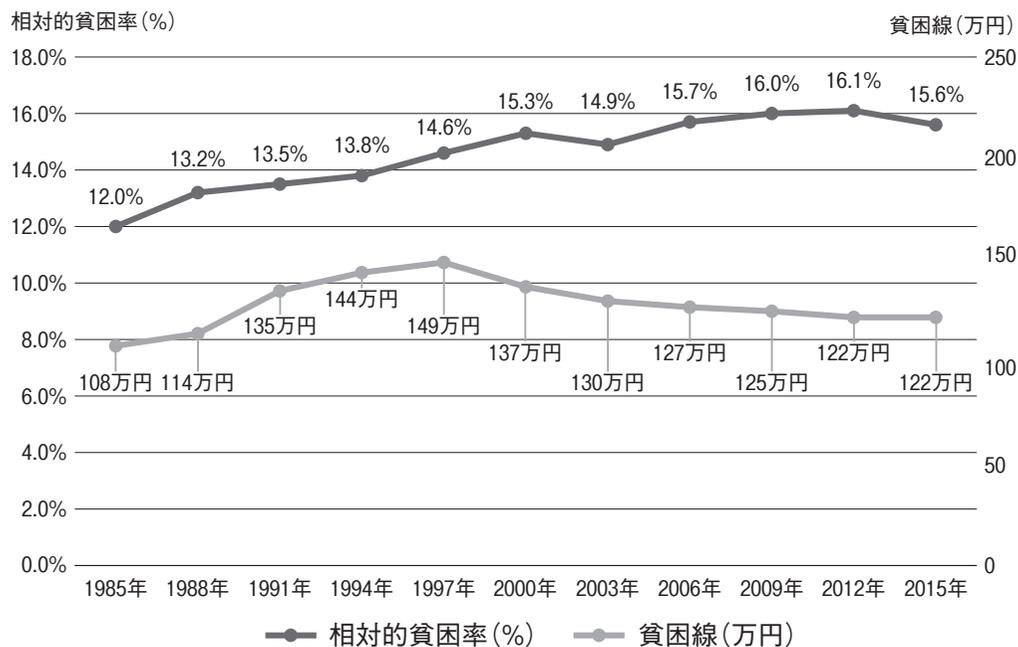
図2 世帯所得（再分配所得）分布の比較（1999年，2014年）



出所：厚生労働省「所得再分配調査」から作成

(注) 小数点以下第二位を四捨五入したため100%にはならない。

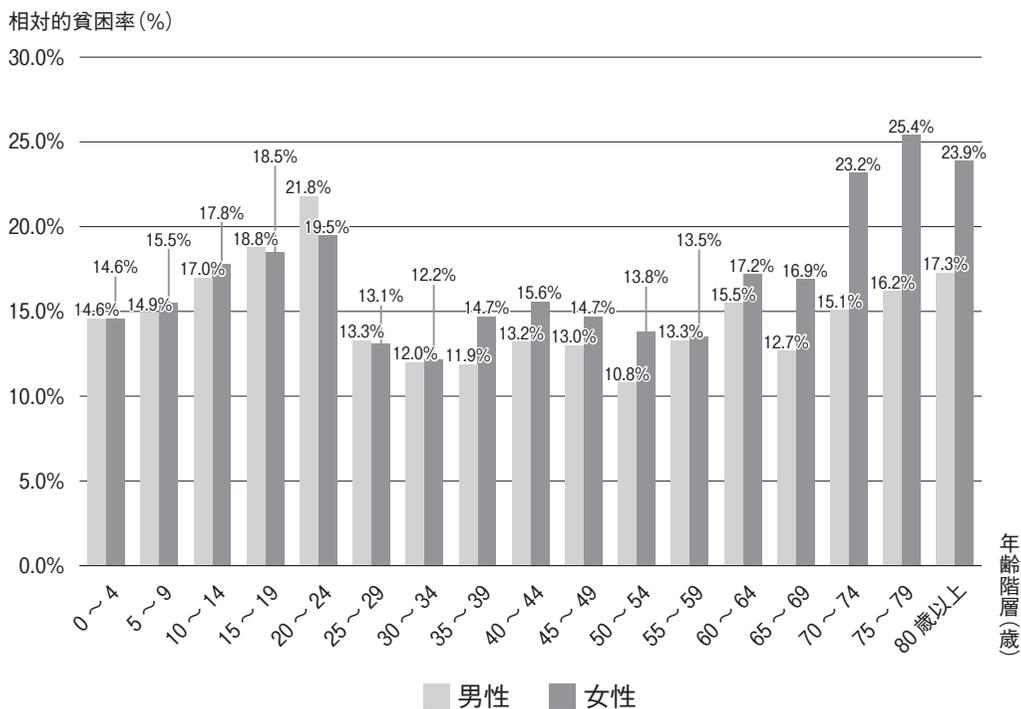
図3 貧困線と相対的貧困率の推移



出所：厚生労働省「国民生活基礎調査」から作成

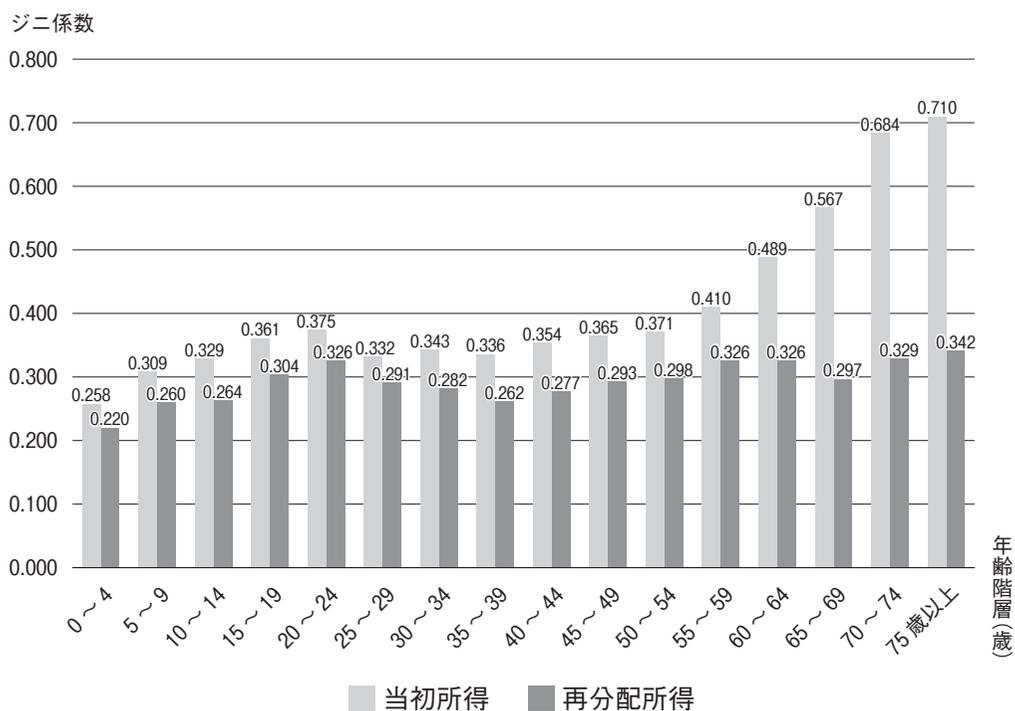
- (注) 1. 貧困線とは、相対的貧困率の基準となる額である（所得を低いものから高いものまで順に並べて、ちょうど真ん中にくるものの額を半分にして求める）。
 2. 相対的貧困率とは、貧困線を下回る所得しか得ていないものの割合である。

図4 性別、年齢階層別に見た相対的貧困率（2012年）



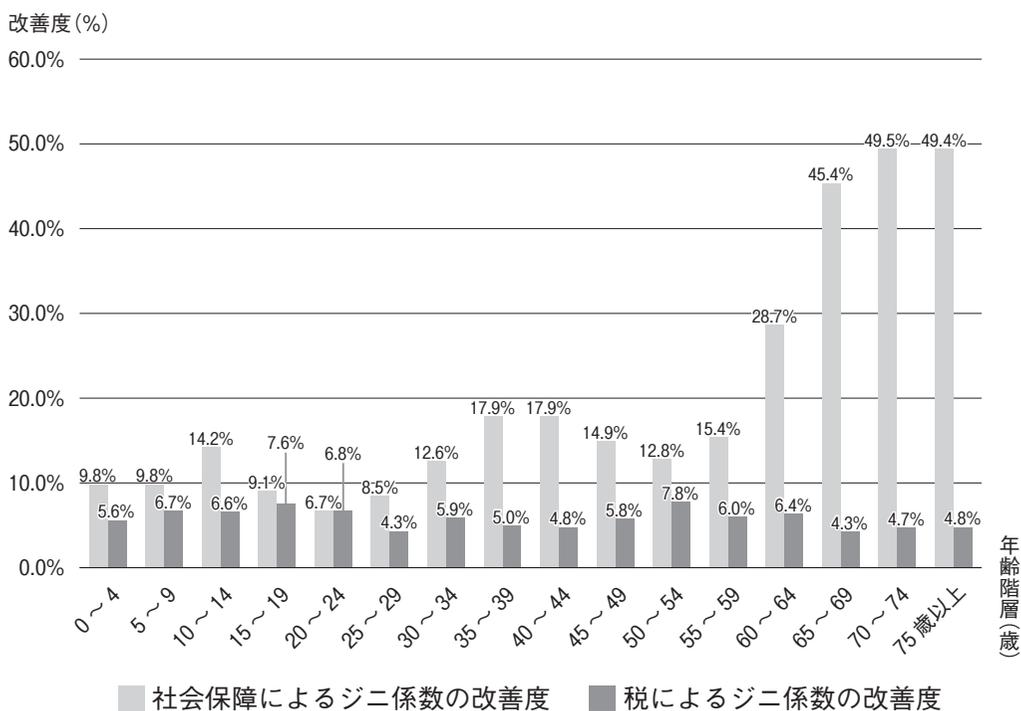
出所：阿部彩（2014）「相対的貧困率の動向：2006，2009，2012年」貧困統計ホームページから作成

図5 年齢階層別に見た再分配所得のジニ係数（2014年）



出所：厚生労働省「所得再分配調査」から作成

図6 年齢階層別にみた社会保障と税による「当初所得ジニ係数からの改善度」(2014年)



出所：厚生労働省「所得再分配調査」から作成